

むつみ

第44号 平成10年1月31日



松ヶ房ダム（県営かんがい排水事業相馬地区）
平成9年11月20日竣工

福島県土地改良団体職員連絡協議会

目

次

新年のご挨拶	福島県土地改良団体職員連絡協議会	去り逝きし日々の想い	坂下中央土地改良区
新年のご挨拶	福島県土地改良事業団体連合会	思い出のつれづれ	小久保 栄一
年男と十年間を振り返って	伊達西根堰土地改良区	黃金色と野の花と	愛谷堰土地改良区
あれから四年	請戸川土地改良区	二十年経った今、思うこと	駒形土地改良区
母との別れ	佐藤公郎	みずの話	大堀洋子
土地改良法との出会い	会津大川土地改良区	鮫川村土地改良区	土地連
「働くということ」	雄国山麓土地改良区	鷺野谷弘行	
寅年雑感	吉山裕二	小林剛	
大切なお米	大熊町土地改良区		
「二十年を振り返って」	川岸博之		
大切なお米	安積疏水土地改良区		
大信村土地改良区	六角信也		
土地連	薄井房幸		
土地連	高野久夫		
土地連	安田明		

表紙写真

撮影：福島県相馬北部用水改良事務所

斎藤

剛氏

新年のご挨拶



福島県土地改良団体職員連絡協議会

会長 松本 充弘

賛されました皆様にはこれからも地域にあってますますのご活躍をご祈念致ります。

特筆すべきは土地連副会長さんの特段のご配慮のおかげにて以前に倍しての賛助金を復活していただきましたことあります。このことにより平成四年度以降途絶えておりました県外研修を五年ぶりに実施し、宮城県の水環境整備事業をつぶさに視察研修をして参りました。

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には新たな希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は六月、七月と早い時期から台風が幾度となく上陸し、おもに九州地方や西日本を中心大きな被害をもたらしましたが、幸いにも福島県内には大きな被害をもたらすことなく、更には低温障害にも悩まされることもなく、やや良の収穫にほっとするものがありました。

土地改良区に従事する私たちにとって農家の方々の明るい笑顔に触れたとき、秋の農業祭や文化祭時に満足感のある笑顔に接したとき何物にもかえがたい喜びが涌いてくるものであります。

さて、二年目を迎えた当協議会にとりまして平成九年は大いなる変革の年でもありました。

恒例の総会および業務研修会は、岳温泉において一・三名という多数の出席者のもと、総会は矢吹土地改良区の大木倉吉さんの議長により全議案を満場一致のご賛同をもってご承認いただきました。続いて永年勤続職員の方々二八名の皆様の表彰を致すことができました。受

更に、初の試みとして中国への海外研修を福島空港利用促進協議会との連携により盛会裡に実施することができました。気候風土生活態様のことなる異文化に肌で触れるにより参加くださいました皆様におかれましては土地改良区運営並びに事業の推進にあたり、大いにその体験を生かされましてよりよい成果を上げられたものと確信をいたすものであります。

さて、本年度農業農村整備事業に対する予算の締め付けが以前にもまして厳しさを増すものと思慮されるとき、土地改良事業に携わる我々は県や土地連との連携を更に密にし、事務運営事業推進そして事業遂行に汗することが肝要であると思います。

更に本年は参議院通常選挙の年であります。かかる厳しい状況にあるとき土地改良事業に理解のある土地連顧問の佐藤静雄先生が再選を期して立候補を致す予定でありますので、会員の皆様方の深いご理解のもと特段のご協力を願いいたします次第であります。

最後になりますが本年も本会会員の皆様そしてご家族におかれましては、前年にもまして実り大きな幸多き年であられますようご祈念し、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



福島県土地改良団体連合会

副会長 黒澤清

福島県土地改良団体職員連絡協議会の皆様、明けましておめでとうございます。

土地連の業務運営及び農業農村整備事業の推進につきましては日頃より格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く情勢は、財政構造改革法の成立による公共事業費の削減や新規事業の抑制、行政改革による省庁再編あるいは一部マスコミによる農業政策の批判等今までになく厳しい環境に立たされているところであります。

昨年十二月の平成十年度予算政府原案内示では、公共事業関係費が大幅に減額され、当初要望額を下回る額となましたが、土地連といつしましても、大区画ほ場整備や農業集落排水施設の整備、及び中山間地域総合整備事業などの推進のためにも、今後、県と共に我が国の食料を担う、東北地方の実情を考慮していただき、地域の実態に即した予算の配分を求め、目標達成を目指す所存でございます。

また、昨年は、金融機関の破綻等、日本経済を揺るがす波乱の年で

もありましたが、法人、土地、証券税制を中心に、景気回復策が打出されておりますので、これに期待しているところであります。

なお、本県におきましては、農業・農村は、県内の基幹産業の一つとして経済発展の基礎を築いてきたばかりでなく、それぞれ地域特性に根ざした歴史ある伝統文化を育み、健全な社会の形成に大きく寄与してまいったところで、本年は、どのような年になるのか予測する事は容易なことではありませんが、土地連としては、本協議会会員の皆様方と共に、会員土地改良区と県政進展のために努力して参りますので、より一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と益々の御発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



第二十一回総会

本協議会の第二十一回総会は、去る平成九年七月十七日二本松市の温泉安達屋において会員及び多数の来賓が出席して開催された。

総会は、事務局（県土地連畠山総

務課長）の司会で、始めに松本会長（請戸川土地改良区）の挨拶のあと議長選出に移り、議長に矢吹土地改良区の大木倉吉氏を選出した。議長

の挨拶後、平成八年度事業報告及び

会長挨拶

（平成九年七月十七日）

一言ご挨拶申し上げます。

県内百三十八の土地改良区及び連合会会員四六〇名からなります

福島県土地改良団体職員連絡協議

会第二回総会を一〇〇名を超える会員の皆様方の出席のもと、本日ここに盛会裡に開催できますことに対しまして厚く御礼申し上げます。

又、本日は参議院議員佐藤静雄先生をはじめご来賓の皆様には公務御多端にも拘りませずご出席賜り、本会に華をそえて戴きましたこと、衷心より感謝申し上げます。

時代から続いております農業の国で



収支決算が一括議題として事務局の説明、監査員の監査結果報告後、原案どおり承認された。

次に平成九年度補正予算、平成十

年度事業計画、収支予算並びに会費・

協賛金の額及び徴収方法を提案し、事務局の説明後いすれも原案どおり可決された。

次いで特別功労者、永年勤続者表

あります。他国でもありますように農が滅びればやがて国も滅びるのが世の常であるのです。

このような状況のときにこそ我々職員は、県の指導を仰ぎながら土地連と連携し英知を出し合い農家農業の活性化、経営の安定に向けて汗を流すことが重要な責務であると思う

中にあります。

UR対策費の期間延長という後退的な見直しや、ほ場整備事業の制度の見直しをはじめとし、福島県産コシヒカリが貳万円を割るという米価の下落、更には海外での極端な食糧不足にも拘らず、国内での米余りによる転作の強化など、明日の農業に向けて不安材料が蔓延しております。

然し乍ら、我が国日本は、神世の

彰が行われ、表彰状と記念品が贈られた。

本協議会より表彰されました方は次のとおりです。受賞者の皆様おめでとうございます。健康に留意されまして益々のご活躍を祈念いたします。

のであります。

本日の総会におきまして、永年勤続職員並びに特別功労者として二九名の皆様を表彰出来ますことは本協議会の最も喜びとするものであります。

心より敬意を表しますと共に今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

又、本年は特に県外研修を九月に予定をしておりますので、実のあるものにすべく多数のご参加をお願い致ります。

本日の総会には、平成八年度事業報告をはじめ六件の議案を提出しておりますので、慎重にご審議を戴きまして円滑に終了出来ますようお願い申し上げまして挨拶と致します。

特別功労者及び永年勤続者表彰

特別功勞者	所屬団体名		氏名	
	伊達西根堰土地改良区	福島県土地改良区	柳沼好子	森久
三十年勤続	母畑地区土地改良区 会津北部土地改良区 福島県土地改良事業団体連合会	高木俊雄 宮内岩子 赤間タツ子	柳沼好子	森久
二十年勤続	母畑地区土地改良区 会津北部土地改良区 福島県土地改良事業団体連合会	郷尾 清野 渡辺 善雄 一晃子	郷尾善廣	柳沼好子
" "	坂下中央土地改良区 鹿島町土地改良区 福島県土地改良事業団体連合会	立川文代 水野洋子 大堀一	立川文代 水野洋子 大堀一	立川文代 水野洋子 大堀一
曳地誠	柏倉剛 小林丈俱 小久保栄一 飯野キサ子	郷尾善廣 渡辺 善雄 一晃子 郷尾善廣	郷尾善廣 渡辺 善雄 一晃子 郷尾善廣	郷尾善廣 渡辺 善雄 一晃子 郷尾善廣

続いて橋本丑恵県土地連副会長、森田純啓県北農地事務所長からそれぞれ祝辞を頂戴した後、祝電が披露された。

祝電

◇参議院議員 佐藤 静雄
◇参議院議員 太田 豊秋
◇県土地連会長 佐藤 栄佐久



十年勤続		二十年勤続		所属団体名	氏名
双葉町	土地改良区	福島県土地改良事業団体連合会		高野久夫	
鶴沼川防災ダム連合協議会	会津中央土地改良区	須賀川市土地改良区	"	菊池有子	
			"	安田明	
				加藤宏恵	
小野善男	新田幸男	大久保多佳	村山恭子		



講演 参議院議員 佐藤 静雄先生



講師 水田農業振興課 永石正泰氏



安達用水改良事務所次長 白井普佐雄氏

職員業務研修会

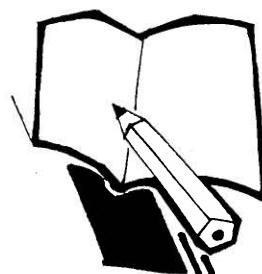
○職員業務研修会

本協議会主催の研修会は、総会に引き続き開催された。内容としては、「直播栽培を進めるにあたっての土地改良区の役割」を県水田農業振興課主幹兼課長補佐永石正泰氏に、「最近の国政について」を参議院議員佐藤静雄氏に、それぞれ講演をお

願いした。

また、翌日は現地研修とし、県安達用水事務所の方の案内で、「山ノ入ダム」の見学を行った。

各講師の先生には、公務ご多忙のところお引受け頂きありがとうございました。



宮城県「内川地区」

丁寧な説明をいただきま
した。

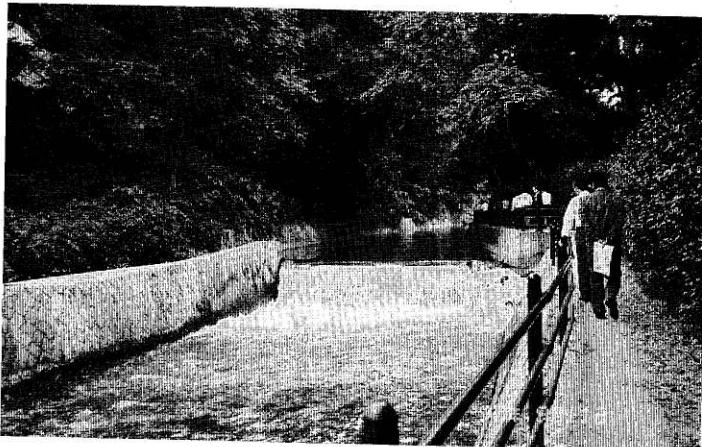
農村整備事業を研修視察
し、県内の事業の推進の
参考とする。」という目
的で、平成九年九月十一
日～十二日に宮城県玉造
郡岩出山町の県営水環境
整備事業「内川地区」の
視察研修を行いました。

「内川」は伊達政宗に
よって開削されて以来、
四百余年の歴史を持つ
水路で、農業用水路とし
ての機能はもちろんのこと、生活用水としての適
切な保全管理、併せて環
境・景観の保護を考慮し、
水辺空間を利用した潤い
のある生活環境の創造を
目指して整備された地区
ということで、佐藤岩出
山町長さんはじめ、岩出
山町役場農林振興課の職
員の方々の熱意のある、

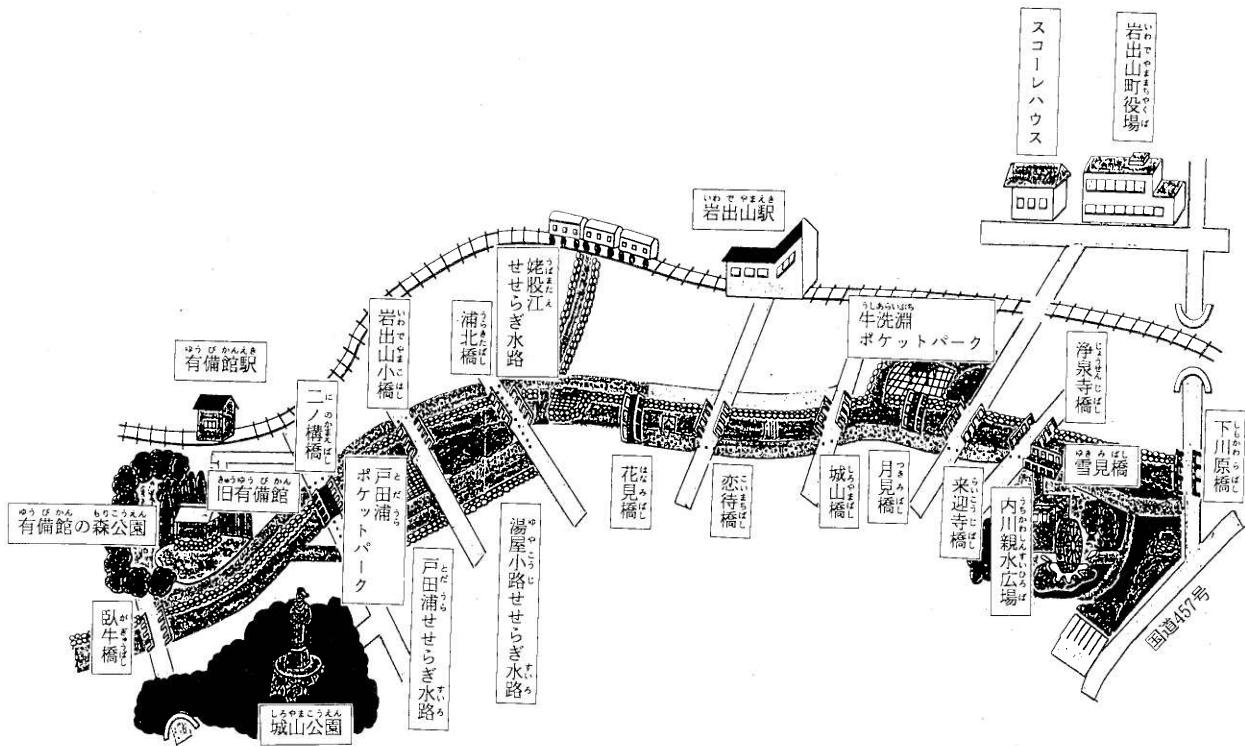
「県外の模範的な農業
農村整備事業を研修視察
し、県内の事業の推進の
参考とする。」という目
的で、平成九年九月十一
日～十二日に宮城県玉造
郡岩出山町の県営水環境
整備事業「内川地区」の
視察研修を行いました。

美しい緑の沿川樹木が印象的な水
環境整備事業地区で、有意義な視察
になつたと思います。

県外研修

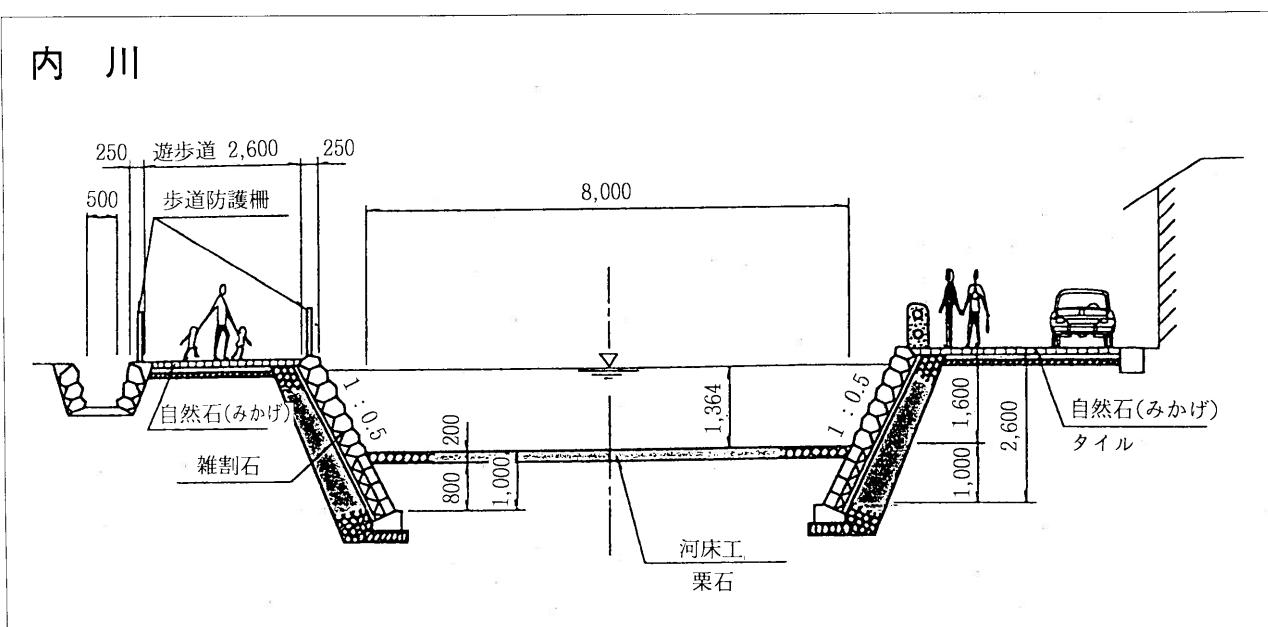


水環境整備事業内川地区計画概略図

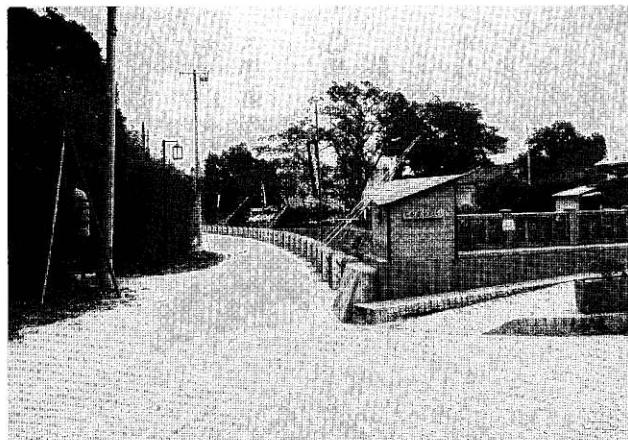
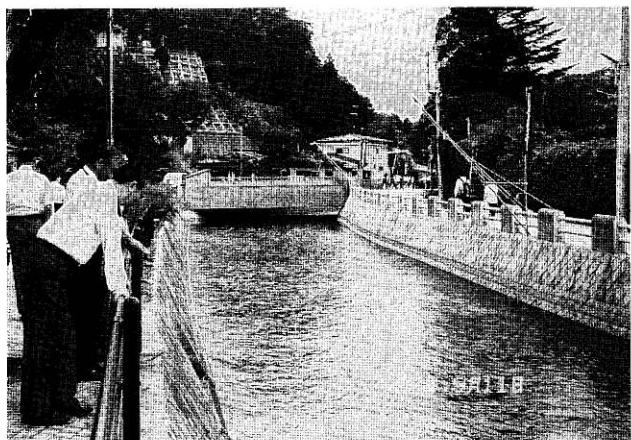
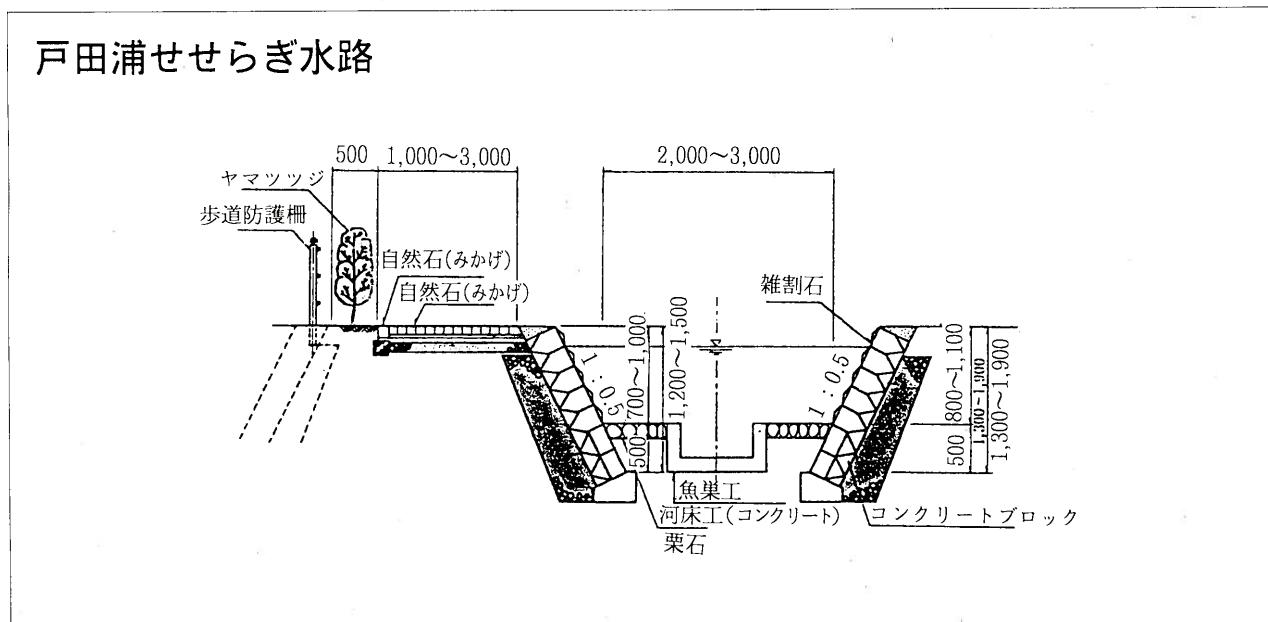


標準断面図

内川



戸田浦せせらぎ水路



海外研修

平成九年十月三十一日～十一月四日まで、本協議会初の試みとして、福島空港利用促進協議会との連携により、中国（上海・南京・無錫・蘇州）への海外研修を実施しました。



(潘班長より概要の説明を受ける)

建設ラッシュの
続く高層ビルの谷間を走
るハイウェイから上海市
内を見学。上海は十九世
紀中頃南京条約により開
港し、現在は中国一の経
済都市として、めざまし
い発展をとげており、今
なお、開発の鐘音が絶え

研修の様子を事務局として参加し
た県土地連磯谷紫雅子主査の研修日
誌より抜粋してご紹介いたします。

◎第一日目（十月三十一日）

「近くで遠い国」といわれた中国、福島空港から3時間飛ぶと広々とした大陸が目に入ってきた。本当に「広い国」と言うのが第一印象である。



車窓より眺める景色は平坦な大地で、どこまでも一面農地（田や畑）である。地下水が豊富で緩やかな流れの川が多数あり、水田にはもつてこいの土地である。

◎第二日目（十一月一日）

列車で南京に向かう。



(農場労働者)

囲の山々や湖浮かぶ島々は、まるで水墨画のようである。

◎第三日目（十一月二日）

蘇州を見学

「東洋のベニス」といわれるこの地は、大湖から流れ込む河川や運河が多く、まさに水の都である。

バスにて無錫に到着

昔、錫が産出されていたので有錫と呼ばれていたが、錫も掘り尽くされて、無錫の名になつたそうだ。周

上海市閔行区七宝鎮人民政府を訪

問する。上海の西郊外で市内中心地から十八キロメートルに位置することの七宝鎮人民政府は、総面積二十一平方キロメートル、世帯数五千戸余りで人口三万六千人、耕地面積は七百ヘクタールである。

土地はすべて国が所有しているため使用税を少額払っているとのこと。農業従事者と工業従事者の収入のバランスは、農業者に対するは様々な優遇措置があるため、農業従事者の



(敬老院)

◎第五日目（十一月四日）
東洋一の國際都市上海を離れ、帰國の途につく

現在、中国の総人口は十二億五千人の四人に一人が中国人である。貧富の差がはなはだしくアンバランス状態が随所にあるが、農工業がますます盛んになり、産業や貿易が発展すれば、日本をしのぐ経済大国にな

方が賃金が高いようだ。

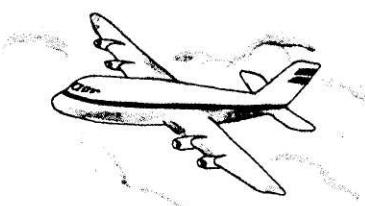
農場は、水路や道路は舗装され、大きく区画された畑にはキャベツやクレソンなどが植えられていて、ほとんど日本の農場と変わりなかつたが、働いている人はのんびりと野菜を収穫していく、なんとのどかなことか。

日本人のようにあくせくと忙しそうに動きまわる姿はなかつた。ほとんどが人力なので、機械に振り回されることがないからだろうか。大型機械を使わないのは、人口が多いため人件費が非常に安いためらしい。

ることは明らかである。日本はこのような国と、どのようにつきあっていくのか、どうすれば日本農業を守ることができるのか、真摯に考えさせられた。また、日本の日常生活に深くしみこんでいる中国文化を身近に触ることができて大変勉強になつた。



(国営農場)



—— 第20回全国土地改良大会 —— 美しく豊かな村づくり全国大会

農林水産省構造改善局長表彰

伊達西根堰土地改良区理事長

氏家武兵衛 氏

全国土地改良事業団体連合会会長表彰

元会津若松市湊土地改良区理事長

荒川 清 氏

全国土地連・栃木県土地連主催、農林水産省・栃木県・宇都宮市・栃木県市長会・栃木県町村会の後援による第二十回全国土地改良大会は十一月五日（水）午後一時三十分から「水と大地・創造・そして未来」をテーマとして栃木県宇都宮市「マロニエプラザ」において、全国から農業農村整備事業に携わる国、都道府県、四千名の参加と関係国会議員を招待して盛大に開催された。

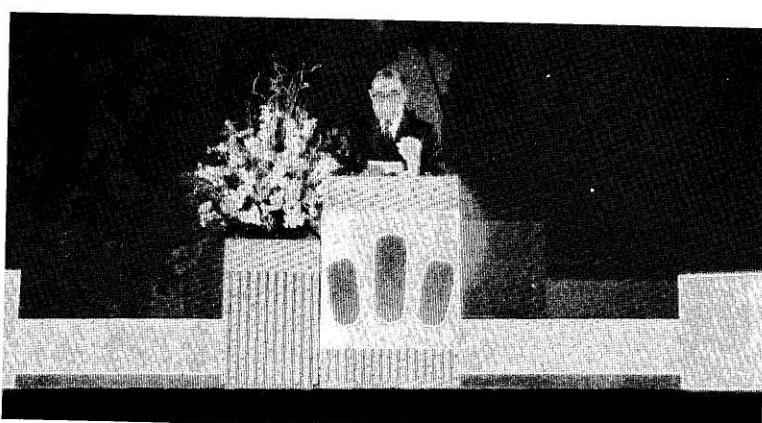
本県からは、飯野本会副会長、役職員、県職員、市町村並びに土地改良区役職員など百二十名が参加した。本大会は、オープニングセレモニーとして「水と大地・創造・そして未来」のビデオにより栃木県の農業農村の歴史等が紹介された。

式典は、渡辺文雄栃木県土地連会長の開会あいさつ、国歌斉唱、栃木又三全国土地連会長の主催者あいさつ、栃木県議会議長、宇都宮市長の歓迎あいさつ、農林水産大臣による来賓祝辞があつた後、土地改良功労者表彰が行われ、農林水産大臣表彰（六名）、農林水産省構造改善局長表彰（十七名）、全国土地改良事業団体連合会会長表彰（四十七名）の表彰があり、本県からは農林水産省構造改善局長表彰を伊達西根堰土地改

良区理事長 氏家武兵衛氏が、全国土地改良事業団体連合会会長表彰を元会津若松市湊土地改良区理事長荒川清氏が夫々受賞した。

次いで、農林水産省構造改善局次長より基調講演があつた後、大会宣言が行われ満場一致で採択され、次期開催県である石川県に大会旗が引継がれた。

なお、大会では歓迎アトラクションとして、那須野ヶ原疏水太鼓保存会による「那須野ヶ原太鼓」、Dens Team ANEFによる「スープダンスショー」が披露され、本大会は盛上がりを見せた。



栃木全国土地連会長



大會宣言

我が国の農業・農村は、国民への食料の安定供給のみならず、国土・自然環境の維持保全、健全な地域社会の形成など、経済社会の発展と国民生活の安定向上に大きく貢献してきた。

来るべき二十一世紀を目前にして、今や人口の爆発的な増加や地球温暖化など、食料や環境、資源の問題が地球規模の課題として注目され、農業・農村は国民の生存基盤として重要な役割が求められている。また、二十一世紀の我が国は豊かでゆとりある成熟した社会となることが望まれているが、そのためには美しく活力ある田園社会の創造が不可欠である。農業・農村は、まさに国民共有の財産として、新たな視点の下で、益々重要な役割を担うことになる。

しかしながら、現下の農業・農村は急激な国際化、高齢化の進展など経済社会の大きな変貌の中で、若者の農業離れや農産物価格の低迷など様々な課題に直面している。

このような中で、国においては、現在、新たな農業基本法の制定に向けて食料・農業・

農村に関する基本的な政策の方向について、検討が進められている。この結論が農業者にとって、夢と希望を持って農業に取り組むことができるよう強く要請するものである。とりわけ、生産性の高い農業基盤の構築と美しく活力ある地域づくりの原動力となる農業農村整備の計画的、総合的な推進について明確な位置付けがなされることを強く望むものである。

我々、農業農村整備関係者は、ここ栃木において第二十回全国土地改良大会を開催し、国民一人一人に、豊かさ・やすらぎ・潤いをもたらす「水と大地」に、英知とエネルギーを結集し、次世代を担う農業者が希望と誇りをもって取り組める活力ある農業と、誰もが住んでみたくなる魅力ある農村の構築に向か、決意を新たにし、農業と農村の重要性についての国民的合意を得つつ、総力を挙げて農業農村整備を強力に推進していくことを宣言する。

平成9年11月5日

第20回全国土地改良大会

○現職名　元会津若松市湊土地改良区理事長

○荒川清氏
大正九年一月七日生

(本県関係)
○全国土地改良事業団体連合会会長表彰



○現職名　伊達西根堰土地改良区理事長
○農林水産省構造改善局長表彰
氏家武兵衛氏
大正九年十二月三日生



土地改良功績者

年男と十年間を振り返って

伊達西根堰土地改良区 遠藤俊明

あれから四年

請戸川土地改良区 佐藤公郎

昭和六十三年、伊達西根堰土地改良区にお世話になって、今年で早十周年を迎えます。

顧みますと勤務当時は、土地改良事業とはどんなものであるか、分からませんでした。

当初、手掛けた仕事は、土地改良施設維持管理適正化事業の測量、設計でした。

最初は技術的な事を諸先輩からご指導を受けながら仕事に取り組んでまいりました。年を追う毎に、土地改良区の維持管理事業は、多種多岐にわたることが判つて来ました。

伊達西根堰土地改良区は、灌漑面積一、四五〇ヘクタール、西根上堰二十六km、西根下堰十二km、藤倉ダム貯水量九十万五千m³、頭首工三ヶ所を管理し、年度当初は分水口の修理に始まり三月には水路内の土砂浚渫、そして、六月には堰土手の除草剤散布、九月には秋工事の堰土

手の草刈等、維持管理には私なりに精一杯頑張っております。

また、西根堰用水路は、山腹を迂回し地域の承水路的役割をしているため、一旦、降雨の際は、昼夜の区別なく排水樋門の開閉等、又、上下堰の末流地域で用水が不足する時は、藤倉ダムを放流し夜中、用水の調節を行うなど職員一致協力して緊急時の対応をしております。

この十年間を振り返って、良かつたなあと思うのは、仕事を通じ組合員の皆さん始め、色々な方と知り合いになれた事は、今の職場があればこそで、人生の宝物として大切に、これからも一生懸命頑張りたいと思います。

この十年間を一つの節目として、今後もより一層事業の推進に、努力してまいりたいと思っております。最後に、会員皆様方のご健勝、ご活躍、会の益々の発展をお祈りいたします。

新年明けましておめでとうござります。本年もよろしくご指導のほどお願いいたします。

土地改良区に採用されて三年目にになります。現在、大柿ダム管理事務所に勤務しています。今は、ダム管理の仕事で精一杯ですが、今年は、土地改良の仕事についても、もう少し広い視野をもつて勉強して行きました。はつきり言つて歴史が高いと思つていますのでよろしくお願ひいたします。

今年といえ、ハラハラドキドキの四年に一度のサッカーワールドカップ、フランス大会があります。私は、サッカーが大好きなのでとても楽しみていています。ワールドカップは、それぞれの国力をかけた戦争といわれていて、オリンピックより大きな大会です。第一回大会は千九百三十年にウルグアイで開催され、今年で十六回目になります。各地区の予選を勝ち抜いてきた強国三十二ヶ国が世界一を目指す大会です。が、日本はまだ過去一度も出場したことがないのです。今この原稿を書いている時点では、アジア最終予選の最中な

ので、日本代表の出場が決まっていかるかどうか分かりません。横浜ベイスターズ（プロ野球）が逆転優勝できたのかどうかも。出場しても、日本のレベルは低いので、南米、ヨーロッパの国々にすぐ負けてしまうと思います。はつきり言つて歴史がちがいます。百年くらい（たぶん）。とにかくアジア予選を突破して出場が出来るというだけでも、日本にとって、とてもすごいことなのです。四年前の悔しさをバネにして、二千二年の日本韓国大会の前に今回こそは、頑張ってほしいと思っています。

私がサッカーの好きな所は、選手が飛び出して、それに対し第二列目からの絶妙なスルーパスがオフサイドラインギリギリで通った瞬間です。と言うことで、日本代表について注目したい所は、中田、名波の攻撃的ミッドフィルダー二人のパスです。名波のパスが計算されたパスに対して、中田のパスは、より球速があり、相手の嫌がる所をすかさず見つけて送り出し、通れば決定的なチャンスになります。現在は中田が右、

年男年女

名波が左にいる格好ですが、二人が近くにいることで、それぞれの持ち味が出てチームに良い影響を与えています。得点シーンだけでなくそこまでの流れにも注目してみて下さい。

優勝候補は、前大会優勝のブラジルといわれています。あとドイツやイタリアなど。個人的には、特にルーマニア、ノルウェー、ユーゴスラビアなどに期待しています。（予選は突破するはず）。ルーマニアは、ハジという選手の前大会での活躍を見て、ゲームメイク、パス、フリー キックなどまた見たいからです。ノルウェー

年男年女

母との別れ

会津大川土地改良区 阿部 美紀子

土地改良法との出会い

雄国山麓土地改良区 古山 裕二

明日からお盆休みという八月十四日の朝、母が倒れたとの知らせに病院へ駆け付たが、母は、意識はなく、心臓も停止していたとの事で心臓マッサージをうけていた。

息をふきかえしたもの、意識は

ないまま、先生の説明をうけ、くも

膜下ということでした。目もあけない母の顔を見ながら、手を握ってあげることしかできませんでした。

手術もできないまま母は、その日の夜、息を引き取った。六十三才で

これからという時だったので子供達皆が、もっと早くいろんな所へつれていくてあげればよかったですと後悔ばかり残ってしまいました。

苦労の多かった母だったので、人間の一生ってこんな形で終わっても

は、背の高い選手が多くそれでいて足もとのプレーも上手い、あとブラジルのワールドツアード時に勝っています。得点シーンだけでなくそこまでの流れにも注目してみて下さい。

優勝候補は、前大会優勝のブラジルといわれています。あとドイツやイタリアなど。個人的には、特にルーマニア、ノルウェー、ユーゴスラビアなどに期待しています。（予選は突破するはず）。ルーマニアは、ハジという選手の前大会での活躍を見て、ゲームメイク、パス、フリー キックなどまた見たいからです。ノルウェー

らの個人技が上手く、名古屋グランパスエイトのストイコビッチ、ACミランのサビチエビッチなどの活躍でどこまで行けるか。その他いろいろありますが長くなるのでそれは次のお話です。今回も、どんなスター選手が誕生し、どんなすばらしいドラマがあるか楽しみにしています。

仕事でも、職場の人達とのパスワーカーを大切にしていきたいと思います。

最近やっと、孫子守から手が離れ、

職場では、組合員の方々が「久しぶりに阿部さんの顔見に来たよ。」と言つて来てくれる事が何よりも嬉しいです。これからも、誰もが気がかるに来れる事務所の雰囲気作りをしていけたらと思います。

ヨーロッパのブラジルといわれるくらい個性が上手く、名古屋グランパスエイトのストイコビッチ、ACミランのサビチエビッチなどの活躍でどこまで行けるか。その他いろいろありますが長くなるのでそれは次のお話です。今回も、どんなスター選手が誕生し、どんなすばらしいドラマがあるか楽しみにしています。

その言葉がうかんできて、本当にあつさりとこの世を去つていってしまったんだと思いました。

日頃母は、「死ぬ時は、誰にも迷惑をかけないであの世にいきたい。」と話していた。

親には間違いないのですが、母親が亡くなつて、初めて、これからは自分が親なんだと強く感じました。これから、妻として、母として、改良区の職員として、満足のいく人生を過ごせる様、努力したいと思います。

一生なんだと我が身におきかえて考えました。今私は、充実した日々を送っているのか、毎日がなんとなく過ぎていつてはいかとつくづく考えさせられました。今でも子供の親には間違いないのですが、母親が亡くなつて、初めて、これからは自分が親なんだと強く感じました。親には間違いないのですが、母親が亡くなつて、初めて、これからは自分が親なんだと強く感じました。親には間違いないのですが、母親が亡くなつて、初めて、これからは自分が親なんだと強く感じました。親には間違いないのですが、母親が亡くなつて、初めて、これからは自分が親なんだと強く感じました。親には間違いないのですが、母親が亡くなつて、初めて、これからは自分が親なんだと強く感じました。

年男年女

与という難解な仕事を任され大変苦労したことを感じております。

土地改良法というものを、聞くも、見るも初めてのこととて土地改良法十五条一項、二項とは何かと言うところから喜多方建設事務所喜多方地方法務局にお伺いし分筆方法、寄付方法でまた、分筆申請には「一二四条二項」で申請して下さいと言われ、一二四条二項とは何か?また悩まされ、何から何まで大変苦労しました。

当時、会津農地事務所等々に県内の事例がありましたら照会をお願いしたいと相談した

採用され現在に至っております。

採用された時は当地区の事業完了前で改良区職員一同、また地区換地委員換地処分に連日連夜苦労したことを覚えております。

それから、雄国山麓土地改良区に採用され現在に至っております。

採用された時は当地区の事業完了前で改良区職員一同、また地区換地委員換地処分に連日連夜苦労したことを覚えております。

「働くといふこと」

大熊町土地改良区 川岸博之

新年、あけましておめでとうございます。

四月から大熊町土地改良区の職員となり、八ヶ月が立ちました。この八ヶ月、無我夢中だったので、「アッ」という間に過ぎたという感じです。毎朝、決まった時間に起き

寅年雜感

安積疏水土地改良区 六角信也

て、朝食を食べて家を出る。ここ四年間忘れていたことなので、最初の一ヶ月ぐらいは毎朝が戦いでした。

今まで、朝方寝て昼過ぎに起きるという生活で、一日、十二時間以上寝ていたのが、いっきに半分に減ってしまったので大変でした。でも、今

では寝ていようと思っても、決まった時間になると目が覚めてしまい、眠っていました。

この八ヶ月、働いてみて一番感じたことは仕事に対する責任の大きさ、重みです。学生の時は、やらなければいけないことをやらなかつたとしても、それは自分の責任で自分にかえつくるだけだった。例えば、あまり講義に出席しなくて単位がとれなくとも、それは自分の責任だけで、他の人に迷惑はかかるなかつた。しかし、今は、自分の仕事などやらなければいけないことをやらなければいけないことをやらないと、自分の責任はもちろん、他の職員の

では寝ていようと思っても、決まった時間になると目が覚めてしまい、眠っていました。

この八ヶ月、働いてみて一番感じたことは仕事に対する責任の大きさ、重みです。学生の時は、やらなければいけないことをやらなかつたとしても、それは自分の責任で自分にかえつくるだけだった。例えば、あまり講義に出席しなくて単位がとれなくとも、それは自分の責任だけで、他の人に迷惑はかかるなかつた。しかし、今は、自分の仕事などやらなければいけないことをやらなければいけないことをやらないと、自分の責任はもちろん、他の職員の

会員の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい年を迎えたこととお慶び申し上げます。

昨秋は本協議会の県外研修として、宮城県岩出山町の水環境整備事業「内川地区」を研修、伊達政宗が開削した水路を住民が守るという地域

では寝ていようと思っても、決まりました。

「責任」という言葉をとても実感しました。

働いてからが一番勉強すると聞いていましたが、その通りで、毎日が勉強の日々です。

今年は、「寅年」ということで年男でもあるので、早く仕事をきちんと覚え、与えられた仕事だけではなく、今、何をしなければいけないのか、何が必要なのかを判断できて、自分で仕事を見つけ、動けるように頑張っていきたいと思います。

今年も豊作だ。また米が余るんでしょうね。

テレビ新聞では、食糧自給率の低下、地球全体に食糧危機の危惧される記事が目に付く今日この頃ですが、

年男年女

大切なお米

大信村土地改良区 薄井房幸

世してから本年までの寅年のその年代の世相等について回想したいと思います。私が生まれた昭和十三年の暮あけとか、昭和二十五年の庚寅の年は聖徳太子の千円札が発行され、年令の呼び方が満年齢になり、昭和三十七年の壬寅の年は東京都の人口が一千万人を突破、世界初の一千万都市となりました。昭和四十九年の甲寅の年には小野田寛郎元陸軍少尉がフィリピンのルバング島で救出され帰国、昭和六十一年の丙寅の年は東北自動車道浦和（青森間が全通、使い捨てカメラ「写ルンです」）が発売され、今年

の戌寅の年はどの様な年になるか……安積疏水も明治十五年の通水から昨年の十月一日に百十五周年を迎えた。国営かんがい排水事業新安積地区も着工、この事業は昭和二十一年代に猪苗代湖から引水する新安積幹線水路を老朽化により改修するもので、工事完了は平成二十年の予定です。

猪苗代湖も明治十五年の安積疏水の通水により日本海と太平洋へ流下しつながら、磐越道も全線開通により太平洋から日本海へつながり、道と水が共に果たす役割は大きいと思ひます。

最後になりましたが、会員の皆様のご多幸とますますのご活躍を祈念し筆をおきます。

今年も豊作だ。また米が余るんでしょうね。

私が少年頃学校の先生に「間もなく地球全体に食糧危機が訪れる、だから生命の維持に欠かせない食糧の生産に深く深く関わる農業は重要だ」とお教えいただいたものです。あれ

幕あけとか、昭和二十五年の庚寅の年は聖徳太子の千円札が発行され、年令の呼び方が満年齢になり、昭和三十七年の壬寅の年は東京都の人口が一千万人を突破、世界初の一千万都市となりました。昭和四十九年の甲寅の年には小野田寛郎元陸軍少尉がフィリピンのルバング島で救出され帰国、昭和六十一年の丙寅の年は東北自動車道浦和（青森間が全通、使い捨てカメラ「写ルンです」）が発売され、今年

の戌寅の年はどの様な年になるか……安積疏水も明治十五年の通水から昨年の十月一日に百十五周年を迎えた。国営かんがい排水事業新安積地区も着工、この事業は昭和二十一年代に猪苗代湖から引水する新安積幹線水路を老朽化により改修するもので、工事完了は平成二十年の予定です。

猪苗代湖も明治十五年の安積疏水の通水により日本海と太平洋へ流下しつながら、磐越道も全線開通により太平洋から日本海へつながり、道と水が共に果たす役割は大きいと思ひます。

最後になりましたが、会員の皆様のご多幸とますますのご活躍を祈念し筆をおきます。

今年も豊作だ。また米が余るんでしょうね。

私が少年頃学校の先生に「間もなく地球全体に食糧危機が訪れる、だから生命の維持に欠かせない食糧の生産に深く深く関わる農業は重要だ」とお教えいただいたものです。あれ

から二十年……私は食糧危機を肌で深く感じたことがない。

みんなは食糧危機を肌で感じるのだろうか？

子供達は登校前に「朝ごはんを食べて行けー せめて牛乳だけでもー。」と親にお願いされている始末である。

ほんの四、五十年前は「食べさせてくれ」とお願いされても食べるものが無かつたんだと祖父母や母に聞く。

実際私が少年の頃はそうだった。食

い物を選ぶ余裕などなかった。農業

生産物（食べ物）は種を蒔いてから

人間の口に入るまで何ヶ月もの時間

がかかる。食べ物を粗末にしない食

べ残しをしないと教えられてきた。

川の上流から開封してない「とうふ」や食べ物が流れているのをみか

けるときがある。（昔々その昔 大きな桃が川上から流れてきたお話は

誰もが聞いたことがあります）：

開封してから流せというわけではな

い。食べないなら買ってくるな捨て

るなど言いたい。早起きして丹精こめて冷水に手をつけながら造る人がいるのに。

最近のお犬様や猫殿達は残飯も食べてくれない。そして、残飯を土にかえす機械なども売り出されている。

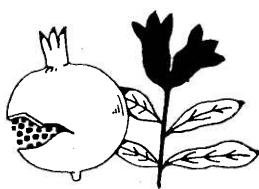
この広告をみると残飯を出さないといけない錯覚に陥る。きっとこの機械をてにいたら無理に残飯を出す努力をするかも知れない……。

宴席でのお聞き後のテーブルを見ると、勿体ない。もったいないお化けが出そうだ。今夜出席の皆様は全員ダイエット中だったのかもしれない”などとおもう。

ときおり、北朝鮮やアフリカの瘦せた腹をすかせた子供たちの映ったニュースや写真を見るのだが……

私はまだ、食糧危機の実感がまだ薄い。

これではいけない。と深く考えながら さあつ！ 今夜も宴席に出かける。



永年勤続

「二十年間を振り返つて」

土地連 高野久夫

私は、土地連に昭和五十一年度に勤務してから早くも二十年を経過いたしました。これも、会員の方々のお陰と深く感謝申し上げます。

今回、永年勤続にあたり、原稿依頼があり抱負をとのことでしたが、今まで土地連での失敗など、想うがままに綴りたいと思います。

私が、最初に勤務したのは、旧会館（現在T・Kビル）で職員百三十名ほどだったかと思います。その当時、会長に笠原多吉氏・参事に黒沢清氏（現副会長と同姓同名）のもとで、技術部第二課技術補を命ぜられ、おもに、県営ほ場整備事業に携わりました。現場には、一週間単位で出張し、一・二ヶ月は同じ宿に滞在しました。担当地区は、喜多方や会津方面が多く、夏冬問わず現場に行っていました。そんななか、会津の冬の現場で、地元農家で一服を取ること

となり、農家の方が「現場は、寒くて大変だなし。」と、なんて暖かい言葉だなと思ったものです。さら

に、お茶と称して「お茶ケ」が茶碗に出され体（心）から暖まつた想い出があります。仕事が終わると宿屋に戻り、風呂を済ませ、上司といつものよう仕事の反省やら、先輩のご教示のもと、食事を取ることとなります。しかししながら、その食事の長いこと、数時間におよび、ボトル（一升瓶をキープ）を空けるのであります。このようにして、お茶ケを飲めないのはイツチヨ前でないと教えられ、土地連勤務が始まつたの

であります。今でも日本酒は苦手で、目下ビールにて、ほとんど勘弁していただいており樹（ます）。

私は、勤務して間もなく、土地連

となり、農家の方が「現場は、寒くて大変だなし。」と、なんて暖か

川球場で高松宮杯にて外野守備でボールを追い、勢い余って回転レシーブごとき、決まったかに見えたが、回転のとき、右鎖骨に小石があたり骨折、全治二ヶ月、入院と相成り、試合はどうなつたか記憶にございませんが、右手は使えず、鎧のごとく石膏を巻かれ、身動きがとれない日々を送り、上司を始め、土地連職員の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。

無事完治し、勤務して四年がたち、昭和五十四年度からは、参考が空席になり、原瀬善道専務が就任されました。私は、技術第三課に配属され、団体営ほ場整備事業に携わり、上司にも大変恵まれました。特に、そろばんのご教示などをいたいたりしましたが、なかなか今でも身になつておらず、大変申し訳なく思つておられます。現在、パソコン化により、そろばんがあまり使われなくなつたのは残念であります。

昭和五十七年度には、管理部指導課に配属になり、上司と共に土地改良事業のなかの経済効果算定をおもに行うこととなりました。まず、「土地改良の投資に先だって、技術

的可能性の検証はもちろん経済的な側面からも投資主体としての国の立場及び受益者（会員）の立場に立つてその妥当性を検証し、有効性を十分確認する必要がある。また、事業は、必要性、効率性の高いものから、重視的に行なうことが求められ、この観点からも効果算定が必要である。」と、また、土地改良事業には、経済効果算定が、土地改良法によって、義務づけられています。土地改良法第八条第四項第一号には、「基本的要件」を満たすことが義務づけられており、政令第二条に、次のように定められています。①自然的、社会的及び経済的環境上、農業の生産的向上、農業総生産の拡大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資するために必要なこと。②技術的に施工が可能であること。③すべての効用がそのすべての費用をつぐなうこと。④受益者（会員）の負担金が農業経営の状況からみて相当と認められ負担能力の限度を超えないこと。とこのように、土地改良法に基づく事業の経済的評価は、二つの面から行なうことが義務づけられています。

一つは、経済性の側面からの評価で、直接の効果だけでなく、事業の

公益的な効果を含めたすべての効果と国・県・市町村の補助金等を含めたすべての費用を対比し、事業の効率性を検証すること。二つ目は、負担能力の側面からの評価であります。が、事業に要する費用のうち、農家（会員）が「負担することとなる金額が、農業経営の状況からみて相当と認められる負担能力の限度を超えることとならないこと」とされ、農家（会員）負担について償還の可能性を検証することとしているのであります。ここで、広辞苑引用し、「効果とは、ある行為によって得られた、期待通りのよい結果。ききめ。」とあります。

現在、効果の手法について大変重要視され、見通しが幾度となく検討されております。なぜなら、国民経済全体の発展を意図する国の立場から、土地改良部門に投資する目的が達成しうるものか、また、その投資は最も効率的になるように配分されているか。一方、この事業によって、農家（会員）は、農作物の収量安定と所得の増大、事業の農家負担金と事業後の営農費用の増減はどうか、これらの視点から効果を測定する必要があります。さらには、数値には置き換えていく環境に配慮した

効果評価も求められようとしているようです。

この後、効果算定業務をおもに、昭和五十九年度には、技術部門部付を命ぜられ、部の総合的な資料収集などをを行い、やりがいを感じました。

昭和六十一年三月二十日土地連総会において、笠原多吉会長が退任し、新会長に衆議院議員の伊東正義氏が選任され、偉大な人が会長になられたものだと誇りに思いました。土地連も新たな段階に入りました。笠原多吉会長は、退任された後でも、本会に立ち寄り、「みんな元気でやっているか」といつも我々職員を気づかい声をかけてくださいました。私が、勤務して十年がたち、昭和六十二年度から新会長のもと、鈴木和五専務、佐藤芳久常務理事体制により、本会運営が始まり、次年度には、手狭になった旧会館から現在の県土地改良会館に職員一同移転し、土地連創立三十周年と記念すべき年になりました。

平成三年度からは、常勤理事が、佐藤芳久氏一人となり、平成五年度は、技術第一課を命ぜられ、次年度は、機構改革により、技術部が、基礎整備部と環境整備部に別れ、環境整備課に配属になり、国が大変力を入れている中山間地域の活性化事業及び総合整備事業に携わることとなりました。

平成七年三月二十三日の第二十七回土地連総会において、新会長に佐藤栄佐久氏（福島県知事）が選任されました。平成九年度からは、基盤整備部農業振興課と名称が変わりましたが、

企画調整課は、新しい仕事が多岐に渡り、試行錯誤しながらでしたが、毎日毎日が楽しく、お茶ヶを飲むのも、また楽しいと、いったところで来ました。

企画調整課は、新しい仕事が多岐に渡り、試行錯誤しながらでしたが、毎日毎日が楽しく、お茶ヶを飲むのも、また楽しいと、いったところで来てから、昭和五十七年八月十五日、換地部換地第二課長土谷嘉三氏享年五十四歳で死去され、平成五年の三月十三日、同僚の換地部換地三課主査菊池秀之氏が、享年三十五歳といふ若さで、同年十二月二日には、前会長笠原多吉氏が享年八十四歳、十一月三十日には、換地部換地課長上田功氏が享年五十八歳、平成六年五月二十日には、会長伊東正義氏享年八十歳で死去され、大変惜しまれます。謹んでご冥福をお祈り申しあげ、筆を終えたいと思います。

市熱海町「郡山ユラックス熱海」において十月十一日に全国から二千六百名を参考して、全国に福島県をPRしました。私も、案内役で参加し、他県の方々と交流を深めることができました。

企画調整課は、新しい仕事が多岐に渡り、試行錯誤しながらですが、毎日毎日が楽しく、お茶ヶを飲むのも、また楽しいと、いったところで来てから、昭和五十七年八月十五日、換地部換地第二課長土谷嘉三氏享年五十四歳で死去され、平成五年の三月十三日、同僚の換地部換地三課主査菊池秀之氏が、享年三十五歳といふ若さで、同年十二月二日には、前会長笠原多吉氏が享年八十四歳、十一月三十日には、換地部換地課長上田功氏が享年五十八歳、平成六年五月二十日には、会長伊東正義氏享年八十歳で死去され、大変惜しまれます。謹んでご冥福をお祈り申しあげ、筆を終えたいと思います。

昭和天皇が、崩御され、平成に改められ、平成元年度は、技術部企画調整課を命ぜられ、この年は、第十二回全国土地改良大会が、全土連・

本会主催で、「平成に豊かさ築く土地改良」をスローガンとして、郡山

同じ業務を担当することとなり、今後、携わっている中山間地域の活性化が図られるか、会員の皆様方と話し合いを持ちながら、よりよい事業が出来、最大限の効果が図られるよう、精一杯努力して参りたいと思つておりますので、会員の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申上げます。

最後になりましたが、私が勤務してから、昭和五十七年八月十五日、換地部換地第二課長土谷嘉三氏享年五十四歳で死去され、平成五年の三月十三日、同僚の換地部換地三課主査菊池秀之氏が、享年三十五歳といふ若さで、同年十二月二日には、前会長笠原多吉氏が享年八十四歳、十一月三十日には、換地部換地課長上田功氏が享年五十八歳、平成六年五月二十日には、会長伊東正義氏享年八十歳で死去され、大変惜しまれます。謹んでご冥福をお祈り申しあげ、筆を終えたいと思います。

今、土地改良に思う

土地連 安田 明

「イヤー、ここも草ぼうぼうになつたない。」「なんとも、しょうがねんじやべない。」このような会話は今農村ではどこでも聞かれる半ば日常挨拶にもとれる会話になつてしまつた。

私が、土地改良事業団体連合会に入社して早二十年が経過しましたが、入社当時県内での農地開発は、それほど多くなく日陰地などの極端に立地条件の悪い所にポツポツ見かけるだけであったと思われます。又、ほ

場整備の地元説明会などに出席し各農家の方々と話し合いをした場合にも銘々の農業に対する希望と期待が強く感じられたよう気がします。

現在私は、県営ほ場整備事業の設計に携わっておりますが特に感じることは、今の農家の価値感の急激な変化と多様化があります。一昔前の農家は、米・味噌・野菜は自分の家で作るのが一般的な日本の農家でした。が、今は「米は作るが野菜はスーパーで買ったほうが安い。」とか「土地だけ持つていればいくら荒らしてもしょうがない。」「別に農地に未練はない。」など様々です。

農業に携わるものが荒れた田畠を見るとなんとも寒々とした風景に映りますが、都会の人の目にはそこは雑草ではなく野草が生い茂り昆虫や鳥たちの楽園に感じる人も少くないと思います。このように農家はもとよりその地域やそこを取り巻く社会全体が農業やほ場整備事業に対する意識変革をしておりここ二、三年痛切にその変動を感じております。

まあ悲観的な事ばかり書いてしまいましたが、県内を歩いてみると中には今の農業に十分魅力を感じ自分たちの夢に向かい真剣に取組む農家もたくさんいらっしゃいます。今後はその人達はもちろんの事、その地域がなにを目指しどうあるべきかを十分に話し合い、自由で形にとらわれない夢のある設計業務を心掛けていきたいと思います。

当時の農業後継者の誰もがそうであつた様に、私も亦人並に夢と希望を持って自営農業に従事して和牛の多頭飼育等を手掛けて居りましたが、折から地域の農地開発と圃場整備の気運が高まり、昭和四十九年に乞われるままに地元土地改良区の職員として土地改良業務に携わる事となり

去り逝きし日々の想い

坂下中央土地改良区 小久保 栄一

東京オリンピックを挟んで前後十年間は我国戦後史に於て特筆される高度経済成長期であつた様に思いますが、十種農家でも足りないよう思えます。又、農村以外の人達の目も変化し、私達（自分も農家）農業に携わるものが荒れた田畠を見るとなんとも寒々とした風景に映りますが、都會の人の目にはそこは雑草ではなく野草が生い茂り昆虫や鳥たちの楽園に感じる人も少なくないと思います。このように農家はもとよりその地域やそこを取り巻く社会全体が農業やほ場整備事業に対する意識変革をしておりここ二、三年痛切にその変動を感じております。

顧みますと他産業と農業に於ける所得格差が指摘されつゝも農業への見果てぬ夢と期待感を繋ぎ止めて呉れたのは土地改良事業に代表される農業・農村の構造改善施策であったと思ひます。

計検査、お世話を戴いた関係機関の方々のご臨席のもと、受益組合員と共に喜びを分かち合つた記念碑除幕と竣工式等々忘れる事の出来ない数々の事柄でした。職員数僅か二人の小さな土地改良区を振り出しに出向と暮れでした。

一度の新設合併に依つて現在の事務所へ移り、今又、県営ほ場整備事業の完了を目前にした換地計画の調整中ですが、改めて時代の変遷と土地改良事業による権利調整の難しさを思い知らされて居ります。

二十数年の貴重な体験の中で数多くの方々との出会いを通して、ご指導と御交誼を戴ける触れ合いに恵まれ

た事が、唯一自らの人生の証として
宝と致し度いと思います。

思　い　出　の　つ　れ　づ　れ

愛谷堰土地改良区　赤間タツ子

あの日のことが、昨日のことのように
脳裏に浮かぶ。昭和四十一年十
月に私が勤務した年、いわき市が誕
生の時だった。県営灌漑排水事業と
耕地整理事業と同時に、夏井川右岸
頭首工など一番事業の多い年だった。

我が事業所は、旧平市夏井役場の間
借りでした。六十五才の会計さんが、
メガネ越しに私を見て、初仕事は特
別会計の賦課通知（切符）だった。
賦課令書一期分千百枚を期日に間に
合わせなければならず、それから事
業の工程表など届け書については全
て五部複写で净書する等、全て手書
きで夜七時より早く帰宅できぬ始
末。まして上司のAさんなどは九時
過ぎまで残業をしていました。こん
な状態が四、五年続いた。かぎられ
た日々の中にも、視察や研修旅行が
あり、四十二年十月秋田県の大潟村
へ平駅六時出発。やっと宿に着いた
のが夜の七時過ぎで途中三回も乗り
かえの旅だった。帰りの車中で秋田

の酒美酒爛漫を利き酒をした総代の
方々の顔が思い出されます。また四
十五年には総代研修で愛知用水事務
所への二泊三日の研修。初めて新幹
線に乗った。この年愛谷江筋（灌漑
用水路）が完成したやさき。四十六

年八月三十一日二十三号台風で、夏
井川は異常氾濫した堰の河床が滝つ
ぼ状に洗堀され不等沈下し頭首工と
しての機能がはたせなくなった。頭
首工の残存部分の片づけに毎日役員
の方と出かけました。県営災害復旧
事業として現在の自動操作と操作機
構を有する頭首工に生まれかわりま
した。その後都市化が進み農地転用
(地区除外)が多くなり減反施策が
行なわれ、米の生産調整がきびしく
なって事務整理におわれ、五百町歩
だつた耕地は三百八十町歩にへりま
した。耕作面積が減少する中、十年
に一度の水利権の問題が浮上し三者
(上水道・土地改良区・県)会議の

使用規則により水利権がへらされ、
農地が少なくなつたとはいえ、施設
維持管理は同じであります。農業用
水の適正な管理に努め、先人が築い
たこの愛谷江筋を永遠に続くことを
私は願つて行きたいと思います。三
十年の節目に表彰を受け記念品とし
て、広辞苑をいただき、感謝しうれ
しいものです。私のつたない文章で
御目を穢しましたことをおわび、思
い出のつれづれを書き綴りました。

しく思います。何を書こうか迷いま
した。思い出は尽きませんが歳月の
経過と共に地域や環境の移り変わり
は計り知れない。やはり三十年とは
長いものです。私のつたない文章で
御目を穢しましたことをおわび、思
い出のつれづれを書き綴りました。



黃金色と野の花と

駒形土地改良区 大堀洋子

いつも大変お世話様になつております。

今後とも、どうぞよろしくご指導の程お願い申上げます。

お陰様にて、役員の方々、組合員の方々に良くしていただき、勤めさせていただいております。

さて、久し振りに爽やかな秋晴れ

となり、稻刈り作業が気持ち良くなっています。

連日の長雨に稻の刈り取り適期に、

早く晴の日になつて欲しいと願つてい

いましたので秋晴れにホッとしてい

文書の配達に農免道路を行きます

と、どの赤トンボもカップルで黄金色の稻田の上をスイスイ気持ち良さ

そうに飛んでいます。

ちょっと廻り道して農道を走つてみました。(車でなく徒歩がいいの

でしようけど)

見事な黄金色の稻穂がなびいて、し

ばし立ち止まり眺めました。本当に素晴らしい大切に大事にせねばならない黄金色の稻田ですね。

吾亦香すすきかるかや秋くさのさ
びしきはみ君におくらむ 牧水
エエツ?!

明治、大正、昭和詩歌選を広げて

さて、事務室には、吾亦紅(吾木香)、ススキと秋の花が、にわか花瓶のワンカップに飾つてあります。

このことについて、ちょっと書いてみたいと思います。

先日久し振りに高女時代の友人と遠い昔日遠足に行つた場所へ出かけました。

萩の花が沢山咲いていて「ウワーアー 懐かしい 風景だワア」と缶ビール手に萩の花見を楽しみました。

友人が「東京のお芝居に招待され

てるので役者さんに他の人と交わっ

た花束を贈りたいのだが、野の花の

花束にしよう」となり、帰り径、吾

亦紅、ススキ、かるかや etc を摘

み(心ない人になるのかな? やいや花の都東京に持参するのだから心ある人よ……ウンウン」と……

花束を贈つて数日後に礼状が届きました。

吾亦香すすきかるかや秋くさのさ
びしきはみ君におくらむ 牧水
エエツ?!

みましたら、牧水の短歌が……吾亦紅(木香) ススキかるかや……とあり、又、エエツ? / 送られた人は、すぐ

に牧水の短歌を思い……贈った人もらと……牧水の短歌により遠い高女時代の文学少女(?)の頃を想い出しました。

そしてこの頃は友人と会えば牧水の短歌など楽しく語り合つています。

野の花の花束で牧水を想いとても良かったと思いません。

さて、私も下手ながら短歌の学習をしております。下手があるので上手がされることか?

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

かたたと/or

◎会議する部屋に舞い入る桜花

◎審議の顔に和みが見える

※ さて、明日もあります。

の良い天気ですとの予報に、稔りの

黄金の稻刈り作業が笑顔でピッチが

上がる事でしょう。

◎花しょうぶ盛りなる日に総代会

恥ずかしいですが、私の作歌です。

◎審議終えてのコーヒー旨し

芳香に和みつワーフロを打つ

◎事務室に友活けくれし沈丁花

神田に稻穂のさやかに揺れており

しジーンとなりました。

◎新しき蕎麦出来たると声かかり

旧き役員の久に集えり

二十年経つた今、思うこと

土地連 小林 剛

私が連合会に奉職した昭和五十一
年当時は、世にいうオイルショック

の頃で、日本が経済的な景気不安を抱えていました。現在はとすると、行政改革に象徴されるように、やはり景気の先行き不安を抱えていて、現象面は同様に見えますが、内容的にはかなり違うように、思えます。このような時こそ、何が大切かを考えるべきだと思います。

二十年を振り返ってみると、「コミュニケーション」に尽くるように思います。仕事でも、プライベートでも、人間相互のコミュニケーションがいかにうまくとれるか。つくづく実感として感じる今日この頃です。

コミュニケーションをうまくとれないうがために、自他の心、果ては、一生を傷つけることはいいことだとは思えません。それには、冷静な気持ちで、自分の感情を抑制し、吟味し、又、支配することが必要であると思います。ところが、現実は、自分の感情に支配され、抑制できないことが多々あり、自戒の念にさいなまれることしばしば。神戸の中学生

による首切り事件も最終的にはそんなところか?と思ひます。

人は怒れる野生動物ではなく、思慮分別をもっています。よく、その原因を見て、同情すべきことは同情し、反省すべきことは反省することが、必要であると思ひます。ただ、人である限り、ちょっとした事で怒り、ちょっとした事で喜ぶのは、面白いことで、それが、人間というものなののかとおもう今日この頃であります。

二十代～三十代の頃は、与えられないものに不平を持っていました。ところが、最近は、若干考えが変わってきて、与えられたものを完全に生かす事を考えた方が、充実感を得られるのではないか。そんなふうに視点を変えてみると、結構、多くのものが目の前に、ぶらさがっていることに気づきます。

手をちょっと伸ばせば取れるのだと、今更ながらに驚くことが多い。一步踏み出すだけでよい。よくもまあ、こんなに、いろいろなものを世の人々は、世の中は、与えてくれる

のだなと驚きます。

そして、日常が楽しくなり、時間

が不足する。後悔していくよして

る暇に、すべき事、したい事を積極的にやっていくことが、生きていく

充実感を与えてくれると思ひます。

精神で肉体を支配し、精神に支障を来さないように、肉体を大切にす

ることが、必要であると思ひます。

お互いの長所を生かす事、自分の役割を果たす事、それで、小さくともいいから、何かを成し遂げる事ができれば、それが精神を喜ばし、満足させる事ができると思ひます。

簡単なことではありますが、なかなか、完遂することができなくて、ストレスが残ってしまいます。それは、自分を棚に上げ、他人に対して、注文をしてしまう自分を発見するからか。そういう自分に対しても、人が敬意を払うことには、到底ならないだろう。

とりとめもなく、社会に出てから二十年余を振り返って、自己批判やら、自己肯定やらを述べてしまいま

したが、最後に自分の仕事及び生活等、ことに、自他の関わり合いに邪魔になる性質、性格を少しずつでも修正して、自分自身の成長の道を進むこと、そして、他の思惑、中傷、間違った要求等に、惑わされる事を、恥じるべく、今後がんばってやっていきたいと思ひます。

人は、大なり小なり欠点を持つています。それは、自分の欠点を認知し、できるだけ用心すべきで、圧迫

してはいけない。その力を他に振り向ければよいと思ひます。私の欠点はとすると、よく女房に言われます「欲が深い」と。言い訳になるかも

されませんが、私はこう考えます。

欲望は、抑圧してはいけない。欲望は、向上心をあおるためのもの、もつと具体的に言えば、妻子を養う力を獲得させるものetc.....。つまり、自分の生命を高めるためのものであって、決して、自分を低俗なもの、賤しくするためのものではない

と思ひます。

みずの話

鮫川村土地改良区
鷺野谷 弘行

ついて話題に上げてみた。

部落の村道沿いは（約一キロメートル）酪農家が三戸もある為かこさ

刈りは勿論のこと村道の法面も年に

幾度と刈り取られていて、村でも一

番景観の優れることは村内の誰

もが認めている。

九月の或晚地区の集落センターで開催されたJAの座談会に出席した。

集まつたのは二十三名の組合員の内JA役員を含めて十名程であった。

職員の一通りの説明が終わって二、

三の質問があり、無事座談会が終了

して解散と言う時になつて農事組合

長さんが、今年は米も豊作であり私

も農事組合長になつて初めての会合

でもあるので飲んで欲しい、と「奥

の鮫川」を一本出してくれたのでまた米の話題になつた。

村内でおいしい米とされて人気のあるコシヒカリの栽培可能な地域は標高の低い一部で、水田のほとんどは三類で酒の掛米に利用されるチヨニシキで、更に高い地域ではタカネミノリと言う早生種が主役となる。

さて、酒の話から今年の政府米の買入数量減の不満や今後有利に売れる作物等など話は尽きなかつたが米の話ついでに水田の周りの景観に

間地での稻作とでは維持管理の面から考えてもマイナス要因の大なる事は間違いない。

ならば、そんな場所での稻作等はやらない方が良いのではないか。そんな事は誰もが考えている事であり止められる方は幸せ者と言えよう。

では転作を、と言つてみても山と山に囲まれた狭い地域ではせいぜい家

畜の飼料位で換金作物と言われる野菜等は地下水の関係で暗渠排水は施

工されていても不可能と言つても過

言ではない。

従つてこのままの状態で一人、ま

た一人と耕作放棄が進む事により美

田が荒れ始めると同時に今まで出で

いた水が自然に出なくなる事をご存

じだらうか。稻に変わつて蒲や、葦

等の雑草が水を吸つてしまふのか、

不思議な位に水が出てこなくなつて

しまうのである。

それに伴い生態系も脅かされる。

例えはドジョウや鮎、タニシ等は住

めなくなり自然環境の破壊にも影響

を及ぼすのは確かである。それに下

流の都市部での水不足が懸念され

しないだらうか。

昔から「水を制するものは国をも

制する」という諺があつたけれども

これからは「水を作れる者は國をも

作れる」と言われるかもしれない。

会津地方の様に大きく根の張った高い山のある所ならざ知らず、阿武隈高地のような薄皮饅頭を幾つも並べたような地方では自然林の手入れは元より水を無駄なく利用する為に人手のかかる地域である事は偽りのない事実である。

富山和子先生が「農業用水がなく

なつてしまふ」と言われている通り

私達も同感である。同時に都会の方々の生活用水でもある事を考えた場合、

中山間地の報われる事の少ない水田を、自然を、そして水を守る農家が

なつてしまふ」と言われている通り

編 集 子

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、新しい年を心晴れやかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本協議会は、平成九年度に江花川沿岸土地改良区、小田高原土地改良区、相馬北部土地改良区、請戸川土地改良区、井上用水堰土地改良区の五土地改良区の新加入会員を迎えるました。平成十年度も皆様とともに、ますます会を発展させていきたいものと考えております。

今回も「むつみ」に対する寄稿をたくさんの方々に頂き、誠にありがとうございました。寄稿又を話題のきっかけとし、親睦の輪が広がっていけばと思っておりますので、皆様のご寄稿を心よりお待ちしております。

昨年は、何かと世の中もあわただしく、暗いニュースの多い年でしたが、今年は明るい良い年になるよう頑張りたいものです。

本年も会員の皆様、そしてご家族にとりまして、充実した幸多き年になりますように、お祈り申し上げます。



“土地改良事業に関する業務は 土地連がお手伝い”

土地改良事業を行う会員の協同組織である県土地連は、土地改良事業の適切、かつ、効率的な運営の確保及びその共同の利益を増進することを目的とし、誠心誠意をもって、次に掲げる事業をお手伝いしております。

1. 技術的援助

- (1) 測量調査設計 (2) 実施・変更・出来型設計及び施工管理 (3) 確定測量
- (4) 換地計画及び登記申請書作成等の受託

2. 相談及び指導

- (1) 土地改良事業に関する相談及び農業基盤整備資金に関する指導
- (2) 土地改良管理指導センター・土地改良施設の管理に関する技術的な診断、指導
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業に関する助言、指導
- (3) 換地センター
 - ・土地改良事業に関する換地事務の推進
- (4) 農村総合整備センター
 - ・農村総合整備事業の啓蒙普及及び技術の向上、指導

3. 電算処理

- (1) 土地改良事業工事費積算業務 (2) 換地業務設計及び経費積算 (3) 確定測量業務
- (4) 水文 (5) 水収支 (6) 土地改良区の賦課業務 (7) 各種土量計算



福島県土地改良事業団体連合会

会長 佐藤 栄佐久

〒 960-8502 福島市南中央三丁目36番地
TEL 福島 (024) 535-0371 (代表)
FAX 福島 (024) 535-1200